

福島県地域保健福祉職員研修
(新任研修、管理者研修)
標準プログラム

福島県地域保健福祉職員研修（新任研修・管理者研修）標準プログラムについて

1 プログラム策定の背景

福島県は高度化、多様化する保健・医療・福祉に関する県民のニーズに対し、適切なサービスを提供していくための人材育成を目的として、保健・医療・福祉に携わる県職員及び市町村職員を対象として実施してきた研修が、計画的、効果的に実施されるよう、平成 15 年 12 月に「福島県地域保健福祉職員研修指針」（以下「研修指針」という。）を策定し、研修の体系化を図ってきた。

平成 16 年度から、研修指針に基づき、保健・医療・福祉の連携強化を目的に「新任研修」と「管理・監督者研修」を実施しているが、地域保健福祉職員研修ワーキンググループの中で、それぞれのプログラムでの学習目標を明確にし、目標を達成したかどうか自己評価ができるようにすべきであるという意見が出された。

2 プログラム策定の意義

標準プログラムを策定し、具体的に学習目標を設定することで、以下の効果が得られる。

- 受講者がこれから学ぼうとしていることの目標を理解しやすくなり、モチベーションを刺激することができる。
- 受講者と指導者との間で、学習目標や評価についての情報交換が容易になる。
- 学習目標を達成したかどうかの評価がしやすい。
- 指導者が、効率的、効果的に学習目標に到達するための、学習方法の選択や資料の作成、時間配分を計画しやすくなる。

3 プログラム策定の基本的な考え方

- 「新任研修」プログラムは、以下の2つの視点で学習項目の重点化を図り、各分野における基礎的な知識や共通の課題に関する知識の修得と、対人サービスにおける基本的な技能を身につけることを目的とする。
 - ①県と市町村が連携して施策を推進していく分野
 - ②保健・医療・福祉を取り巻く社会情勢から特に重要と考えられる分野なお、学習項目以外の施策に関しては、必要時資料を配布することとする。
- 「管理者研修」プログラムは、保健・医療・福祉が連携した組織運営を円滑に行うために管理職員として必要な知識や技術を修得することを目的とする。
- 受講者の学習意欲を高めるため、講義はできるだけ最小限とし、ケースメソッドやロールプレイ、グループワークなど参加型の研修内容とする。

- 各プログラムの学習目標は、本研修期間内で達成可能な設定としたが、特に新任職員については、「保健福祉行政職員として期待される役割を果たすことができる能力を身につける」ため、本研修の他に各職場の現任教育の中で、反復・強化するとともに、各保健福祉事務所においてフォローアップ研修を開催し、知識・技能・態度の定着化を確実に図ることが重要である。

4 プログラムの構成要素

- 「学習目標」
学習者が、学習することによって目指す、より望ましい状態（行動変容）をいう。
学習目標は、一般目標と行動目標とで示される。
- 「一般目標」
期待される学習成果をいう。
学習者が主語で知識（認知）、態度・習慣（情意）、技能（精神運動）の3領域にわたることが望ましい。
- 「行動目標」
一般目標を達成するためにどんなことができるようになるかを具体的に示しているもの。
学習者が主語で知識（認知）、態度・習慣（情意）、技能（精神運動）の3領域にわたることが望ましい。
学習者が、すべての行動目標ができるようになれば、その総和として一般目標に到達するという関係になる。
本研修ではこの行動目標を評価項目としている。
- 「研修方略」
各行動目標に到達するために積む学習経験の種類（学習方法）をいう。
- 「評価」
教育活動を効果的に遂行するため、学習による行動の変化を測定し、その結果に基づいて、学習者や教育プログラムを今後どうするかを決定するもの。

※定義は「日本公衆衛生学会主催『地域保健・医療』研修指導者開発ワークショップ」資料より引用。

新任研修

【対象者】

新たに地域保健・医療・福祉行政に携わることとなった、県職員及び市町村職員（原則として管理職を除く）。

【一般目標】

保健・医療・福祉各分野の基礎的な知識や共通の課題に関する知識を修得し、相互に連携しながら、保健福祉行政職員として期待される役割を果たすことができる能力を身につける。

【行動目標：SBOs（Specific Behavioral Objectives）】

SBOs1：法令を踏まえた地域保健福祉活動を理解する。

SBOs2：福島県の保健・医療・福祉政策を理解する。

SBOs3：県民の保健福祉向上のため、県、市町村に期待されている役割について説明できる。

SBOs4：関係機関・団体と連携、協働することの必要性・重要性について説明できる。

SBOs5：面接やケースワークで住民の気持ちや立場に配慮することができる。

SBOs6：保健福祉行政職員として期待される役割について説明できる。

【プログラムテーマ構成】

- 1 地域保健福祉総論
- 2 健康長寿の県づくり
- 3 地域医療の再生
- 4 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
- 5 ともにいきいき暮らせる福祉社会
 - (1) 高齢者保健福祉の推進
 - (2) 地域福祉の推進
 - (3) 生活保護の現状と課題
 - (4) 障がい者保健福祉の推進
- 6 安全で安心できる生活の確保
- 7 保健福祉行政職員として必要な知識・技術に関するテーマ
 - (1) 面接技術の基本
 - (2) 放射線と健康について
 - (3) 住民、関係機関と行政の協働の実際

管理者研修

【対象者】

新たに地域保健・医療・福祉行政に携わることとなった管理者（県は副部長以上、市町村は課長相当職以上とする。ただし、以前に保健・医療・福祉に携わったかどうかは考慮しない。）。

【一般目標】

保健・医療・福祉各分野が連携した組織運営を円滑に行うために必要な知識を修得し、保健福祉行政管理職員として期待される役割を果たすことができる能力を身につける。

【行動目標：SBOs（Specific Behavioral Objectives）】

SBOs1：関係機関・団体と連携、協働することの必要性・重要性について説明できる。

SBOs2：県民の保健福祉向上のため、県、市町村に期待されている役割について説明できる。

SBOs3：保健福祉行政の管理職員として期待される役割について説明できる。

【プログラムテーマ構成】

- 1 地域保健福祉連携論
- 2 保健福祉行政における管理職員として必要な知識・技術に関するテーマ
 - (1) 健康危機管理
 - (2) 保健福祉行政管理職員として期待される役割
 - (3) 保健・医療・福祉をめぐる社会情勢や制度改革などから必要と考えられるテーマ

テーマ別目標及び研修方略

新任研修

1 地域保健福祉総論

【一般目標】

福島県の保健福祉行政の概要を理解し、公衆衛生の向上及び福祉社会の推進を図るために、保健福祉関係職員として相互に連携しながら、期待される役割を果たすために必要な知識を修得する。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：地域保健福祉の基本的な考え方を理解する。

SBOs2：福島県の保健・医療・福祉政策の基本理念を理解する。

SBOs3：基本理念を実現するため5つの基本目標を定めて推進していることを理解する。

SBOs4：基本理念を実現するため、県、市町村に期待される役割について説明できる。

SBOs5：県民に対し質の高いサービスを提供するためには、多様な主体が連携、協働することの重要性について説明できる。

【研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行動 目標	時 間	研修担当	研修評価
LS1	講義 地域保健福祉総論	1, 2 3, 4 5	40分	保健福祉総 務課	アンケート (自己評価表)
合計(分)			40分		

【LS説明】

LS1 講義：地域保健福祉総論 保健・医療・福祉のさらなる推進(40分)

<研修のポイント>

- 1 地域保健の基本的な考え方
- 2 社会福祉の基本的な考え方
- 3 福島県の保健・医療・福祉推進の基本理念及び基本目標
- 4 保健・医療・福祉における県、市町村の役割分担の基本的な考え方
- 5 保健・医療・福祉の連携・協働

<参考資料>

- 1 地域保健法
- 2 社会福祉法
- 3 福島県保健医療福祉ビジョン

2 健康長寿の県づくり

【一般目標】

ヘルスプロモーションの理念に基づいた健康づくり運動を理解し、県民、職域、地域が一体となった生活習慣病予防と地域における健康づくり活動を実践するために必要な知識を修得する。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：「健康ふくしま21」計画を理解する。

SBOs2：県民の健康に関する最大の課題である生活習慣病対策を理解する。

SBOs3：生涯にわたる健康づくり推進における県、市町村、職域、学校保健など関係機関の役割及び連携の必要性について説明できる。

【研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行 動 目 標	時 間	研 修 担 当	研 修 評 価
LS1	講義 生涯にわたる 健康づくり	1, 2 3	20分	健康増進課	アンケート (自己評価表)
合計(分)			20分		

【LS説明】

LS1 講義：生涯にわたる健康づくり（20分）

<研修のポイント>

- 1 健康増進法制定の背景及び概要
- 2 健康ふくしま21計画及びその施策
- 3 健康づくりを推進するための人づくり、地域づくり
- 4 生活習慣病の現状と課題及び対策の概要
- 5 これからの生活習慣病対策（特定健康診査・特定保健指導の推進を含む。）

<参考資料>

- 1 健康増進法
- 2 健康ふくしま21計画
- 3 福島県食育推進計画
- 4 福島県医療費適正化計画

3 地域医療の再生

【一般目標】

少子高齢社会の進行に伴う疾病構造の変化や高度化、多様化する県民のニーズに対応するため、良質な医療を提供する体制整備が図られていることを理解する。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：福島県の医療提供体制を理解する。

【研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行 動 目 標	時 間	研 修 担 当	研 修 評 価
LS1	講義 健康を支える 医療の現状と 課題	1	20分	地域医療課	アンケート (自己評価表)
合計(分)			20分		

【LS説明】

LS1 講義：健康を支える医療の現状と課題（20分）

<研修のポイント>

- 1 福島県の医療提供体制の現状と課題
- 2 救急医療体制（小児救急・周産期医療体制を含む）の現状と課題
- 3 へき地医療の現状と課題
- 4 災害時医療体制の現状と課題
- 5 移植医療の現状と課題
- 6 緩和ケアの現状と課題

<参考資料>

- 1 第五次福島県医療計画
- 2 福島県災害救急マニュアル
- 3 福島県がん対策推進基本計画
- 4 福島県医療費適正化計画

4 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

【一般目標】

安心して子どもを産み、楽しんで育てることができ、生まれてきた子どもが健やかに育つための環境づくりを推進するために必要な知識を修得する。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：福島県の少子化の現状について理解する。

SBOs2：県内の次世代育成支援対策の取組状況について理解する。

SBOs3：次世代育成支援対策における県や市町村の役割について説明できる。

SBOs4：児童虐待及びDVの予防と発生時の対応について県や市町村の役割を説明できる。

SBOs5：生まれてきた子どもが健やかに育つために関係機関の連携が重要であることを説明できる。

【研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行動 目標	時 間	研修担当	研修評価
LS1	講義・実践報告 福島県の少子化 対策・地域にお ける子育て支援	1, 2 3, 5	20分	子育て支援課	アンケート (自己評価表)
LS2	講義 児童虐待・DV 対策※	4, 5	20分	児童家庭課	アンケート (自己評価表)
合計(分)			40分		

※ DVについては、「4 ともにいきいき暮らせる福祉社会の推進」に含まれる施策であるが、家庭の虐待防止という観点から児童虐待と密接に関係している部分もあることから、この章で説明することとする。

【LS説明】

LS1 講義・実践報告：福島県の少子化対策・地域における子育て支援（20分）

<研修ポイント>

- 1 地域特性を踏まえた福島県の少子化の現状
- 2 「うつくしま子ども夢プラン」による次世代育成支援対策の取組み及び
県・市町村の役割を紹介
 - ・ファミリーサポートセンター等の活動を通して地域における子育て支援を
考える。
- 3 市町村の行動計画に基づく次世代育成支援対策の先駆的事例を紹介
 - ・行政と地域の子育て支援団体が連携協力して子育て支援事業を行っている
事例から子育て支援を考える。

4 実践報告を受けてフロアと意見交換を行い理解を深めていく。

LS2 講義：児童虐待・DV対策（20分）

<研修ポイント>

- 1 児童虐待をめぐる現状と課題
- 2 児童虐待予防と発生時の対応
 - (1)乳幼児健康診査での取組み
 - (2)子どもの虐待予防サポート推進事業
 - ①育児不安を持つ親のグループミーティング事業
 - ②育児支援家庭訪問事業
 - (3)市町村虐待防止ネットワーク会議
 - (4)児童相談所及び関係機関の役割
- 3 DV対策の概要と市町村・関係機関(特に女性のための相談支援センター)の役割

<参考資料>

- 1 健やか親子21
- 2 うつくしま子ども夢プラン
- 3 市町村次世代育成支援行動計画
- 4 女性のための相談支援センター概要

5 ともにいきいき暮らせる福祉社会

(1) 高齢者を対象とした福祉サービスの充実

【一般目標】

高齢者が社会的な役割を持ち、健康で自立した生活を続けられるような環境づくりやたとえ介護を必要とする状態となっても、その人らしい生活を送れるよう各種制度やサービスを活用して適切な支援ができるための知識を修得する。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：高齢者の保健・医療・福祉をめぐる現状と課題を理解する。

SBOs2：高齢者に関する保健福祉制度を理解する。

SBOs3：高齢者の保健・医療・福祉を取巻く県、市町村等関係機関の役割を説明できる。

SBOs4：質の高いサービスを提供するためには関係機関の連携が重要であることを説明できる。

【研修方略：LS（Learning Strategy）】

方 法		行 動 目 標	時 間	研 修 担 当	研 修 評 価
LS1	講義 高齢者保健福祉	1, 2 3, 4	10分	高齢福祉課	アンケート (自己評価表)
LS2	講義 介護保険制度の ポイント	2, 3 4	10分	介護保険室	アンケート (自己評価表)
合計（分）			20分		

【LS説明】

LS1 講義：高齢者保健福祉（10分）

<研修ポイント>

- 1 高齢者の保健・医療・福祉をめぐる現状と課題
- 2 認知症予防対策事業の推進
- 3 地域支援事業（介護予防事業、包括的支援事業）の推進
- 4 地域包括支援センターの役割
- 5 高齢者保健福祉施設サービスの充実
- 6 高齢者の保健・医療・福祉を取巻く県、市町村等関係機関の役割と連携強化

LS2 講義：介護保険制度のポイント（10分）

<研修ポイント>

- 1 新予防給付について
- 2 地域密着型サービスについて
- 3 介護保険をめぐる県、市町村等関係機関の役割と連携強化

<参考資料>

- 1 第五次福島県高齢者福祉計画・第四次介護保険事業支援計画
- 2 福島県地域ケア体制整備構想
- 3 福島県医療費適正化計画

(2) 誰もが人と人とのつながりを感じることができる社会づくりの推進

【一般目標】

誰もが地域で安心して生活できるために、ノーマライゼーションの理念を理解し、住民参加による福祉のまちづくりを実践するために必要な知識を修得する。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：福祉社会の推進のために行政、民間が果たすべき役割を理解する。

SBOs2：生活保護を必要とする人への支援をめぐる現状と課題について理解する。

SBOs3：県、市町村の果たすべき役割、連携・協働の必要性を説明できる。

【研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行 動 目 標	時 間	研 修 担 当	研 修 評 価
LS1	講義 地域福祉の総合的、計画的 推進	1, 3	15分	社会福祉課	アンケート (自己評価表)
LS2	講義 生活保護の現状と課題	2, 3	15分	社会福祉課	アンケート (自己評価表)
合計(分)			30分		

【LS説明】

LS1 講義：地域福祉の総合的、計画的推進 (15分)

<研修のポイント>

- 1 地域福祉の推進に関する現状と課題
- 2 地域福祉計画策定の意義
- 3 地域福祉の推進にむけての行政（県、市町村）と民間の役割分担と協働

LS2 講義：生活保護の現状と課題 (15分)

<研修のポイント>

- 1 生活保護の現状と課題
- 2 社会保障制度における生活保護の位置づけと他法他施策との関係

<参考資料>

- 1 福島県地域福祉支援計画

(3) 障がい者が日常生活・社会生活を営むための総合支援

【一般目標】

ノーマライゼーションの理念に基づき、障がい児者が個人としての尊厳にふさわしい日常生活又は社会生活を営むことができるよう、保健・医療・福祉にわたる総合的な支援ができるための知識を修得する。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：障がい者の保健・医療・福祉をめぐる現状と課題を理解する。

SBOs2：障がい者に関する保健福祉制度を理解する。

SBOs3：障がい者の保健・医療・福祉を取巻く県、市町村等関係機関の役割を説明できる。

SBOs4：質の高いサービスを提供するためには関係機関の連携が重要であることを説明できる。

【研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行動目標	時間	研修担当	研修評価
LS1	講義 障がい者保健福祉	1, 2 3, 4	10分	障がい福祉課	アンケート (自己評価表)
LS2	講義 障害者総合支援法のポイント	2, 3 4	10分	障がい福祉課	アンケート (自己評価表)
合計(分)			20分		

【LS説明】

LS1 講義：障がい者保健福祉（10分）

<研修ポイント>

- 1 障がい者の保健・医療・福祉をめぐる現状と課題

LS2 講義：障害者総合支援法のポイント（10分）

<研修ポイント>

- 1 自立支援給付について
- 2 地域生活支援事業について
- 3 障がい者の保健・医療・福祉を取巻く県、市町村等関係機関の役割と連携強化

<参考資料>

- 1 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
(障害者総合支援法)
- 2 ふくしま障がい者プラン
第3次福島県障がい者計画
第3期福島県障がい福祉計画

6 安全で安心できる生活の確保

【一般目標】

誰もが安全で安心して生活できる、人に優しい生活環境づくりを推進するために必要な知識を修得する。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：福島県における「食の安全」にかかる現状と課題を理解する。

SBOs2：関係者が連携・協働しながら、生産から流通、消費に至る一貫した食品安全確保対策を推進していることを理解する。

【研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行動 目標	時 間	研修担当	研修評価
LS1	講義 食品安全行政	1, 2	20分	食品生活衛 生課	アンケート (自己評価表)
合計 (分)			20分		

【LS説明】

LS1 講義：食品安全行政（20分）

<研修のポイント>

- 1 福島県における「食の安全」を取巻く現状と課題
- 2 福島県における食品の安全確保にかかる施策の概要

<参考資料>

- 1 福島県食品の安全確保に係る基本指針
- 2 福島県食品安全確保対策プログラム

7 保健福祉行政職員として必要な知識・技術に関するテーマ

(1) 面接技術

【一般目標】

相談者に配慮しながら、各種社会資源を活用し適正な対応ができる技能を身につける。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：相談を受ける際の心構えや進め方を説明できる。

SBOs2：相談者の気持ちや立場に配慮した相談ができる。

研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行動目標	時 間	研修担当	研修評価
LS1	面接技術に関するロールプレイ	1, 2	120分	(外部講師予定)	アンケート (自己評価表)
LS2	面接技術に関するフォローアップ	1, 2	120分	保健福祉事務所	アンケート (自己評価表)
合計(分)			240分		

【LS説明】

LS1 面接技術に関するロールプレイ(120分)

カウンセリングの手法を習得するため、心構えや進め方について理解した後、相談者と職員の役割を交互に演じるロールプレイを行う。

LS2 面接技術に関するフォローアップ(120分)

カウンセリングの手法を習得するため、心構えや進め方について理解した後、自らの体験と照らし合わせてロールプレイを行う。(フォローアップ研修で実施)

(2) ケースワーク

【一般目標】

相談者に配慮しながら、各種社会資源を活用し適正な対応ができる能力を身につける。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：相談から支援までの一連の対応について理解できる。

SBOs2：相談の内容に応じた具体的な支援・関係機関の役割について理解できる。

SBOs3：ケースワークにおいて支援目標を設定することの重要性が理解できる。

SBOs4：相談者の気持ちや立場に配慮できる。

研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行動目標	時 間	研修担当	研修評価
LS1	ケースメソッド ・児童虐待 ・障がい者 ・高齢者など	1, 2 3	120分	保健福祉事務所	アンケート (自己評価表)
合計(分)			120分		

【LS説明】

LS1 ケースメソッド

新任が窓口で遭遇するような仮想事例を通して、関係機関の役割を学ぶとともに相談窓口としての経験上想定できる具体的な支援方法を共有する。

「正解」を探すものではない。(フォローアップ研修で実施)

(3) 放射線と健康について (120分)

【一般目標】

復興へ向けた心身の健康管理対策を推進するために必要な知識を修得する。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：「放射線と健康について」理解する。

SBOs2：支援する上で心掛ける点を説明できる。

【研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行動目標	時 間	研修担当	研修評価
LS1	講義 放射線と健康について	1, 2	120分	外部講師	アンケート (自己評価表)
合計(分)			120分		

【LS説明】

LS1 講義：放射線と健康について (120分)

(4) 住民、関係機関と行政の協働の実際 (100分)

【一般目標】

関係機関・団体と連携、協働することの必要性・重要性について理解する。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：「住民、関係機関と行政の協働の実際」について理解する。

SBOs2：官民協働の取り組みを進める上でのポイントを理解できる。

【研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行動 目標	時 間	研修担当	研修評価
LS1	講義 住民、関係機関と 行政の協働の実際	1, 2	100分	外部講師	アンケート (自己評価表)
合計 (分)			100分		

【LS説明】

LS1 講義：住民、関係機関と行政の協働の実際 (100分)

管理者研修

1 地域保健福祉連携論

【一般目標】

公衆衛生の向上及び福祉社会の推進を図るために、保健・医療・福祉が相互に連携しながら、期待される役割を果たすために必要な知識を修得する。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：地域保健福祉の基本的な考え方を理解する。

SBOs2：保健福祉を取り巻く現状と課題を理解する。

SBOs3：保健・医療・福祉の連携と総合化の必要性・重要性を説明できる。

SBOs4：県民に対し質の高いサービスを提供するために、県、市町村、各職種に期待される役割について説明できる。

【研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行動 目標	時 間	研修担当	研修評価
LS1	講演 地域保健福祉連携論	1, 2 3, 4	10分	保健福祉総務課	アンケート (自己評価表)
合計(分)			10分		

【LS説明】

LS1 講演：地域保健福祉連携論（10分）

＜研修のポイント＞

- 1 地域保健の基本的な考え方（ヘルスプロモーションを含む）
- 2 社会福祉の基本的な考え方
- 3 保健福祉を取り巻く現状と課題
- 4 保健・医療・福祉の連携と総合化の必要性
- 5 質の高いサービス（ヒューマンサービス）の考え方

2 保健福祉行政管理職員に必要な知識・技術に関するテーマ

(1) 健康危機管理

【一般目標】

健康危機管理について平時・発生時・事後の各段階で、課題解決のため保健福祉行政管理職員として期待される役割を果たし、関係機関との連携・調整ができる能力を身につける。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：組織上の役割分担を理解し、管理職員として判断すべきポイントを説明できる。

SBOs2：事例ごとに、かかわる社会資源を確認し、連携・調整方法について説明できる。

SBOs3：健康危機管理に際し、住民の気持ちや立場に配慮した対応策が説明できる。

SBOs4：住民やマスコミに対して、保健福祉行政管理職員として説明責任を果たすべきタイミングと留意点を説明できる。

【研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行動目標	時 間	研修担当	研修評価
LS1	ケースメソッド 健康危機管理 ・感染症 ・児童虐待 ・自然災害など	1, 2 3, 4	110分	(外部講師予定)	アンケート (自己評価表)
合計(分)			110分		

※震災後は、県民健康調査課「アドバイザーグループ」へ依頼

【LS説明】

LS1 ケースメソッド(110分)

＜研修のポイント＞

保健福祉行政管理職員として遭遇するであろう健康危機に関する仮想事例への対応をとおして、管理職員として判断すべきこと、また経験上想定できる現実の留意事項を共有する。

「正解」を探すものではない。

(2) 保健福祉行政管理職員として期待される役割

【一般目標】

保健福祉行政管理職員として期待される役割を理解し、実践できる能力を身につける。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：相互の考えを共有していくことで新たな役割を理解できる。

SBOs2：管理者研修を通して理解した期待される役割を説明できる。

研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行動目標	時 間	研修担当	研修評価
LS1	実践報告 「私が考える保健福祉行政管理職員として期待される役割」	1, 2	40分	保健福祉総務課	アンケート (自己評価表)
LS2	グループワーク 保健福祉行政管理職員として期待される役割	1, 2	20分	保健福祉総務課	アンケート (自己評価表)
合計 (分)			60分		

【LS説明】

LS1 実践報告 (40分)

<研修のポイント>

保健福祉行政管理職員としてすでに活躍している方の報告から、管理職員として期待される役割を理解する。

LS2 グループワーク (20分)

<研修のポイント>

管理者研修の最後に研修内容の定着化を図る意味で、グループワークを行って保健福祉行政管理職員としての役割についてディスカッションする。

自分の考えを説明し、相互の意見を共有することで役割を整理していく。

また、先進事例発表をした各講師から意見に対するアドバイスをもらうことでさらに学習を深める。

(3) 保健・医療・福祉をめぐる社会情勢や制度改革などから必要と考えられるテーマ

『職場のメンタルヘルス・コーチング』

【一般目標】

保健福祉行政の現場は、様々な相談を受けることが多く、精神的なストレスを抱えている職員も多いことから、職場のメンタルヘルスの体制づくりのキーパーソンとして、管理職員に期待される役割を果たすことができる技能を身につける。

【行動目標：SBOs (Specific Behavioral Objectives)】

SBOs1：職場のメンタルヘルスの必要性を理解できる。

SBOs2：キーパーソンとして管理職員に期待される役割を説明できる。

SBOs3：職員から相談を受ける際の心構えや進め方を説明できる。

SBOs4：メンタルヘルスを意識した適切なコーチングが実践できる。

【研修方略：LS (Learning Strategy)】

方 法		行 動 目 標	時 間	研 修 担 当	研 修 評 価
LS1	演習 職場のメンタル ヘルス コーチング	1, 2 3, 4	110分	(外部講師予定)	アンケート (自己評価表)
合計(分)			110分		

【LS説明】

LS1 職場のメンタルヘルス・コーチング(110分)

<研修のポイント>

演習をとおして、相談等でストレスを感じている職員への適切な対応を学び、管理職員として職場のメンタルヘルスの体制づくりを検討していく。

平成 18 年 3 月 28 日作成

平成 20 年 4 月 1 日改定

平成 22 年 3 月 30 日改定

平成 26 年 5 月 29 日改定